

関連項目：教育活動プラン④

様々な体験活動を生かして豊かな心を育む

目的

本校の児童は、本年度全校生4名と少人数での生活を送っています。当然、学年の枠を超えた活動を中心に他校と同等程度の役割分担・係活動等を行っており、交流学习も計画実施してきました。しかしながら、日々の生活で人の絶対数が少なく「井の中の蛙」状態に陥りやすい危険性を常に抱えています。そこで、あらゆる機会をとらえ、多くの人との関わりをもたせアプローチさせることで、精神的な強さ・思考の深まりや広がりやをねらい、多種多様な体験活動(学習)を実践することにしました。

内容

● 同一中学校区の小学校との交流学习

- 3校ある小学校と定期的に交流。
 - ・半日、交流クラスで生活(授業、休憩、給食など)を共にする。(年4回)
 - ・鑑賞教室に合同参加(年1回)
 - ・全校児童の交流学习(持久走大会、給食や授業など)(年2回)



● 地域の人との交流(七夕交流会)

地域の生き生きネットワークの事業の誘いを受けて、毎年7月7日に実施。地域の方々と七夕にちなんだ催し物を通して地域の方々への感謝の気持ちやふるさとのよさを実感する機会としている。児童からも合奏演奏を披露した。



● さ・東小研会での研究授業の公開

総合部会の研究授業会場となったことを機に、参加教員(約20名)を相手に「多和をガイドしよう」のテーマに沿って実際に多和をガイドするシチュエーションのもと、ガイド活動を行った。



● 学習発表会

保護者・地域の方々・学校評議員の方々を対象に、4月からの学習(総合、英語、音楽など)の成果発表を行った。本年度は、県警音楽隊の協力のもと、地域の聴衆100名余りの前で指揮者体験を行った。



● 長期宿泊体験学習

完全なホームステイ形式での宿泊体験学習。徳島県三好市井川町(徳島の山村地域)の民家に児童2名ずつが分かれ2泊のホームステイを体験。同じ山村ではあるもののさらに高地での生活であり、文化の違いを生で体験。合わせて、見知らぬ人とのコミュニケーションや作法等の基本的な生活習慣形成の面でも効果のある事業であった。



成果

こうした取り組みをすることで、程よい緊張をもって自己アピールしたり、思いを伝えたりと大人数の中での自分の立ち位置を確保する術を学んできつつあります。

また、活動の事前・事後で相手を意識した調べ(調査)・まとめ(発表・発信)することで、相手への気配りや尊敬・感謝の気持ちや自分の置かれている環境(状況…故郷など)への愛着心(郷土愛)も強く育ってきています。